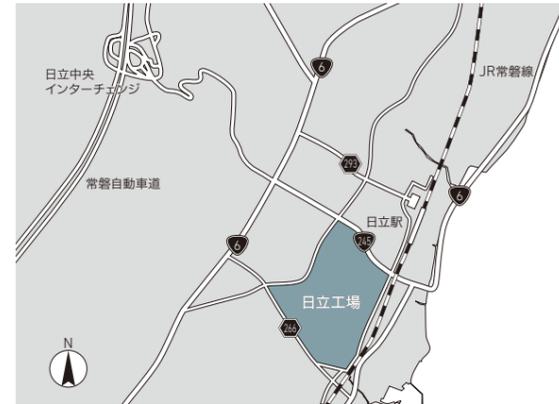




世界最大級のハイスピードバランス(HSB)装置

沿革

- | | |
|--|--|
| 1910 久原鉱業株式会社日立鉱山の付属事業として創業。 | 1993 ガスタービン研究開発センターを新設。 |
| 1912 久原鉱業株式会社日立製作所に改称、製品の販売を始める。 | 1997 7万kW級超伝導発電機が完成。 |
| 1918 1,000kVAタービン発電機が完成。 | 2010 創業100周年。 |
| 1920 資本金1,000万円をもって、株式会社日立製作所を創設。 | 2011 東日本大震災で海岸工場が被災(2週間後、完全復旧宣言を出す)。 |
| 1930 海岸工場を創設。 | 2014 三菱重工業(株)と(株)日立製作所の火力発電システム事業を統合し、三菱日立パワーシステムズ(株)を設立。これに伴い、三菱日立パワーシステムズ(株)日立工場となる。 |
| 1933 2,800kW陸用タービンが完成。 | 2016 日立工場本館を新設。 |
| 1945 B29爆撃機延べ120機により海岸工場は壊滅的被害を被る。 | 2020 三菱パワー株式会社に社名変更。これに伴い、三菱パワー(株)日立工場となる。 |
| 1956 創業当時の電気機械修理工場を海岸工場内に復元、「創業小屋」と命名。 | |
| 1972 原子力用タービン日立初号機(13万8,600kW)が完成。 | |
| 1988 H-25形ガスタービン初号機(2万5,000kW級)が完成。 | |



交通案内

日立工場

〒317-8585 茨城県日立市幸町3-1-1 tel (0294)20-8000
 〈電車〉JR常磐線 日立駅下車 徒歩約10分

HITACHI WORKS

日立工場案内



タービン発電機

HITACHI SINCE 1930

明日のエネルギーをテーマに 人類の未来に貢献します

日立工場は、1930年(昭和5年)に国産技術の確立をめざし創設、「フロンティアスピリッツ」を連綿と具現する役割を果たす一方、高度な技術と確かな技能、最新鋭の設備をもって数多くの製品を世に送り出してきました。今後も、人々の生活環境を豊かにするさまざまな製品を通じて社会に貢献すべく、「挑戦」を続けていきます。

工場面積
約434,000㎡

国際認証

- ISO 9001 品質マネジメントシステム
- ISO 14001 環境マネジメントシステム

主要製品の年間生産能力



HITACHI WORKS

主要製品



火力用蒸気タービン・発電機



原子力用蒸気タービン・発電機



ポンプ水車ランナー (日立三菱水力(株)からの受託製品)



H-25形ガスタービン



H-100形ガスタービン

工場概要



- | | | |
|-----------------|---|--------------------------|
| ① 正門 | ⑨ 蒸気タービン動静翼、中物部品工場 | ⑰ タービン大物部品第2工場 |
| ② 本館 | ⑩ ガスタービン動静翼工場 | ⑱ 350トンハイスピードバランス(HSB)装置 |
| ③ 蒸気タービン長翼溶接工場 | ⑪ ガスタービン動翼工場 | ⑲ 発電機部品管理工場 |
| ④ ガスタービン燃焼器第1工場 | ⑫ 蒸気タービン長翼工場 | ⑳ 発電機大物機械、組立工場 |
| ⑤ ガスタービン燃焼器第2工場 | ⑬ 鉄板(発電機コア)工場 | ㉑ 発電機部品加工工場 |
| ⑥ 大物製缶工場 | ⑭ 大物組立工場 | ㉒ 発電機コイル工場 |
| ⑦ 蒸気タービン中物部品工場 | ⑮ アディティブマニュファクチャリング工場 (AM-Zone [®]) | |
| ⑧ ガスタービン溶射工場 | ⑯ タービン大物部品第1工場 | |

アディティブマニュファクチャリング工場 (AM-Zone[®])

当社は、金属積層造形における独自の材料技術を保有しており、使用用途ごとに原料素材の最適調合を提供することが可能です。日立工場は材料となる金属粉末の開発から金属積層造形、製品仕上げ加工および最終検査までの一貫生産拠点です。

※アディティブマニュファクチャリング (AM: Additive Manufacturing 積層造形)



●素材溶解装置、粉末製造装置、各種金属3D造形装置および機械加工装置、各種分析装置、寸法測定装置等を保有しています。

主要生産設備



大型タービンローターNC旋盤



高速タービンブレード加工ライン



大型NCプラノミラ



タービンローターサイドエントリー翼溝加工機



φ200NC横中繰り盤



6,000トン複動プレス